

新宿駅東口地区 賑わい創出・物流効率化の複合型プロジェクト

1. 事業化実験の概要

(1) 実験内容・目的

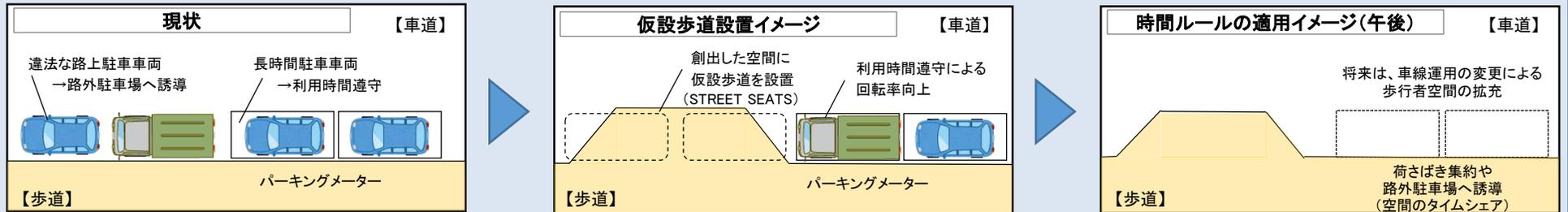
- ・荷さばき集約化や路上駐車対策により、新宿駅東口地区内の路上駐車を減らし、車道部分に歩行者空間を創出する。
- ・その歩行者空間を活用して賑わい創出を行い、まちの賑わいや魅力をさらに向上させる。

(2) 実験の全体像

新宿モール&パサージュ計画 ～歩きたくなるみちづくり～

「SHINJUKU STREET SEATS」①道路空間の活用による賑わい創出実験(新宿通り)

車道の一部に仮設歩道「SHINJUKU STREET SEATS」を設置し、まちの魅力向上を図る。



路上駐車等の減少により、車道を歩行者のための空間に転換

「新宿東口荷さばき集約化プロジェクト」

②荷さばき集約化実験

地区内に流入する荷さばき車両を減少させ、路上駐車の発生を抑制する。

③駐車場所・駐車時間の適正化実験

違法な路上駐車車両の路外駐車場への誘導やパーキング・メーターの利用時間遵守を図る。

④荷さばき時間集約化

地区内の路上荷さばきを午前中に集約し、午後の路上駐車の発生を抑制する。

(3) 実施期間(案)

- ①道路空間の活用による賑わい創出実験 : 10月12日(金)～10月28日(日) ※10/11(木)夜間設置工事、10/28(日)夜間撤去工事
- ②荷さばき集約化実験 : 10月18日(木)・19日(金)
- ③駐車場所・駐車時間の適正化実験 : 10月15日(月)・18日(木)・19日(金)・22日(月)・24日(水)・26日(金) 計6日間
- ④荷さばき時間集約化 : 10月12日(金)～10月28日(日)